

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2019-92760(P2019-92760A)

【公開日】令和1年6月20日(2019.6.20)

【年通号数】公開・登録公報2019-023

【出願番号】特願2017-224150(P2017-224150)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和3年5月13日(2021.5.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤を備え、前記遊技領域を流下した遊技球が所定の始動口を通過することに基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実行する遊技機において、

当該遊技機の電源投入に際して第1の操作が行われることに基づいて、前記当り遊技の実行確率に関する設定情報を決定可能な設定決定モードを発生させる設定決定モード発生手段と、

当該遊技機の電源投入に際して第2の操作が行われることに基づいて、前記設定決定モードとは別に前記設定情報を確認可能な設定確認モードを発生させる設定確認モード発生手段と、

所定の不正行為を検知可能な不正検知手段と、

前記不正検知手段の検知に基づいて、特定報知部材を用いた異常報知を行う異常報知手段と、を備え、

少なくとも前記設定決定モード中には、前記特定報知部材を用いた異常報知が実行されないものであり、

前記設定決定モード中に所定の終了操作が行われると、遊技の進行が可能な状態になり、該遊技の進行が可能な状態で特別報知が実行され、

前記特別報知の実行中に前記不正検知手段が所定の不正行為を検知した場合には、前記特別報知中であっても前記特定報知部材を用いた異常報知が実行可能とされることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来、パチンコ機等の遊技機として、遊技場管理者による設定変更操作によって、当り確率等の設定状態を複数のいずれかに設定する遊技機が知られている。（例えば、特許文献1）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開平6-91049号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、設定情報を有する従来の遊技機については、利便性に欠けるという問題があった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、設定情報を有する遊技機について従来よりも利便性を向上させることができる遊技機を提供することにある。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項1に係る発明においては、

遊技球が流下可能な遊技領域が形成された遊技盤を備え、前記遊技領域を流下した遊技球が所定の始動口を通過することに基づいて抽選を行い、該抽選の結果に基づいて図柄の変動表示を行い、該図柄の変動表示の結果として当り結果が導出された場合に所定の当り遊技を実行する遊技機において、

当該遊技機の電源投入に際して第1の操作が行われることに基づいて、前記当り遊技の実行確率に関する設定情報を決定可能な設定決定モードを発生させる設定決定モード発生手段と、

当該遊技機の電源投入に際して第2の操作が行われることに基づいて、前記設定決定モードとは別に前記設定情報を確認可能な設定確認モードを発生させる設定確認モード発生手段と、

所定の不正行為を検知可能な不正検知手段と、

前記不正検知手段の検知に基づいて、特定報知部材を用いた異常報知を行う異常報知手段と、を備え、

少なくとも前記設定決定モード中には、前記特定報知部材を用いた異常報知が実行されないものであり、

前記設定決定モード中に所定の終了操作が行われると、遊技の進行が可能な状態になり

、該遊技の進行が可能な状態で特別報知が実行され、

前記特別報知の実行中に前記不正検知手段が所定の不正行為を検知した場合には、前記特別報知中であっても前記特定報知部材を用いた異常報知が実行可能とされる

ことを特徴とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項1に係る発明によれば、設定情報を有する遊技機について従来よりも利便性を向上させることができる。